

富良野市共創まちづくり推進事業テーマ型

富良野市共創まちづくり推進事業について、次のとおり募集テーマを提示します。

テーマ	地域コミュニティの活性化 ～若者が創る、未来のふらの～
テーマ選定の理由	人口減少と少子高齢化、定年延長や共働き世帯の増加などライフスタイルが多様化する中で、地域コミュニティの結びつきが希薄化しています。その象徴ともいえる町内会では、役員のなり手不足や未加入世帯の増加が深刻化しており、これまでのような町内会活動の継続が困難との声も聞かれています。こうした課題は、もはや従来の枠組みだけでは解決が困難であり、市内全域に共通する問題です。 若い世代が町内会活動に参画するためには、町内会役員だけで答えを出すのではなく、若い世代と一緒に考えることが重要です。本事業では、若者が地域に飛び込み、住民と対話しながら課題を発見・実践・提言するプロセスを大切にします。若者の視点が、現在の担い手の「気づき」を生み、小さくても実践できる取組につながることを目指します。 その成果をモデルケースとして全市に共有・展開することで、課題の可視化と共創による解決を推進するとともに、若者の成長機会と地域コミュニティの再生を目指す取組を、本テーマとして提示します。
期待する効果	・若者の視点から地域課題が可視化され、現在の担い手が「気づき」を得て、実践できる取組が生まれること。 ・若い世代が地域活動の中心となり、世代間交流が促進されるとともに、地域コミュニティの担い手が確保され、活動が次世代へと引き継がれていくこと。 ・若者が富良野での活動を通じて実践的な経験・スキルを得るとともに、地域への愛着を深めるきっかけとなること。 ・地元高校生が地域の担い手とともに活動することで成長機会を得るとともに、シビックプライドと定住意識が高まり、将来の地域リーダーが育まれること。 ・人と人がつながる「居場所」や「交流の機会」が地域に生まれ、平常時のつながりが災害時の「共助」につながること。 ・取組の成果が全市的に共有され、持続可能な地域コミュニティが市内全域に広がること。

提案いただいた内容	1. 若者を核とした地域課題の発見・実践・提言の企画・実施 若者を地域共創プログラム参加者として受け入れ、地域に飛び込んで住民と対話しながら課題を発見し、解決策の実践・成果発表・政策提言までを一貫して担うプログラムの企画・実施。 2. 地域課題の発見と企画立案 ワークショップ等を通じて町内会の現状や課題を学び、住民へのヒアリングを行いながら地域課題を可視化する。その上で、課題解決に向けた取組のテーマを、現在の地域の担い手たちとともに企画立案する。 3. モデル地区での実践（フィールドワーク） 企画立案した取組を特定のモデル地区で実際に実践する。 4. 取組の成果を全市的に共有し、他地域へ展開する提案・実施 モデル地域で実践した取組の成果を、連合町内会長や単位町内会長をはじめとする地域の担い手も参加する成果発表の場を設けて共有するとともに、その例を参考として他の地域でも実践できるよう、展開するところまでを行う取組。この取組をゴールとするのではなく、各地域での新たな実践への出発点と位置付け、持続的な地域コミュニティの再生につなげていくもの。 ※上記はあくまで例示であり、これらに限定するものではありません。
連携する部署	市民生活部コミュニティ推進課